

# 市民要求実現に向け、みなさんと力を合わせて—日本共産党—

9月市議会で日本共産党は市民要求を掲げ論戦しました。この間、みなさんと力を合わせて取り組んできた要求も実現していますのでご紹介します。

## 中学3年生まで子ども医療費が拡充

やっと、中学3年生まで拡充されるんですね。いざというとき助かります。ありがたいございます。（大東在住のお母さん）

平成26年1月から子ども医療費の通院分が、小学6年生から中学3年生にまで拡充されます。党議員団は、お母さん方と一緒に署名を集め、議会で取り上げてきました。川島町では川越市の病院で窓口払いはありません。充実に向け取り組みます。



川越市でも近隣市の対応を研究したいとしています。引続き

## 川越駅東口にエレベーター設置

川越駅東口にエレベーターが2基設置されました。身体の不自由な方、ベビーカーを引く方からエレベーター設置の要望が寄せられました。党議員団はくり返し議会で一般質問を行い、誰もが利用しやすいバスターミナル、バリアフリー化の実現を求めてきました。

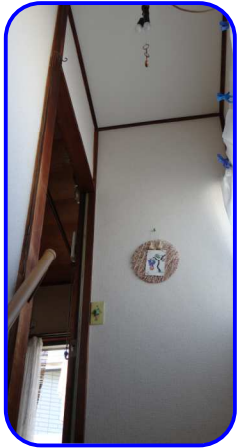


今まで苦労していましたが、これで安心してバスに乗れます。（Aさん）

## 住宅改修（リフォーム）補助金が増額に

市内業者を利用して住宅をリフォームする場合、限度額8万円の補助金が利用できます。平成25年度は、1500万円の予算でスタート。しかし7月末でなくなり、年度途中に予備費と補正予算で計1千万円増額

市内業者に改修をお願いして、家がきれいになりうれしい。補助金があったので思い切って出ました。（高階在住女性）



## 川越駅西口の暫定駐輪場料金引き下げ示す

川越駅西口の暫定駐輪場は、民間に貸して運営され、現在一日150円となっており、引き下げの要望が寄せられました。市は、来年1月から一日100円に引き下げ、定期利用導入の考えを示しました。今後、業者と協議の上利用料を決定するとしています。同時に川越駅西口周辺は、放置自転車禁止区域となります。



夫と息子が利用しています。家計にうれしいです。（新宿在住）

## 介護保険料は高い！

平成24年度から始まった第5期の介護保険料は、基準月額で1080円の大増値となり、県内61保険者のうち4番目に高い保険料となりました。一方で、24年度決算では8億円を超える剰余金が発生し、国などに約1億6千万円を返還、給付等準備基金に約6億5千万円を積立て、基金は25年度末で13億4千万円となる見込み。剰余金は一人あたり8315円となり、保険料引下げは十分可能です。

### 豊かな学校給食を

藤間・吉田両給食センターの建替えて計画されている新学校給食センターは、建設から運営管理等を民間に請け負わせる「PFI手法」の導入が検討されています。安全安心の給食を提供する責務は、本市教育委員会にあります。調理を営利目的とする民間事業者に委託した自治体では、違法な偽装請負などで各労働局からは正指導が出され、市の責任が果たせない状況等問題となっています。効率重視でなく、人間の基礎をつくる豊かな学校給食をめざすべきです。



川越市の学校給食

## ここが問題！

### 安心して利用できる公民館

公民館の使用料の見直しを検討されています。本来社会教育活動が幅広く行えるように、条例の減免規定に基づいて多くの方が無料で利用していますが、「受益者負担」として利用者に負担を求める考えが強まっています。社会教育における受益者について問うと教育委員長は、「受益者はその活動が還元される地域並びに地域住民と考える」と答弁。文化活動なども含め広く社会教育は無償で行われるべきものです。

## 川越の教育は大丈夫？

### 負担増続く 平成24年度決算

#### 9月市議会の経過

平成24年度決算では学童保育料の値上げ、都市計画税の増税、下水道使用料の値上げ、介護保険料値上げなど市民負担が前年に続き増加しました。日本共産党は一般会計決算など5決算について負担増が続く、市民生活は限界と指摘し反対しました。職員給与の大幅な引き下げが行われました。人事院勧告も行わず、地方

自治体の独自性に国が一方的に介入するもので道理のないやり方です。川越市は行政改革として数年来職員削減した結果、仕事の多忙化や残業が増え、市民サービスの低下が危惧されます。公共事業で働く労働者の賃金水準を適正にするため国の要請に基づいて、道路補修などにかかわる事業費が増額補正されました。